

● 図書館インフォメーション

2階のコミックコーナーにはスポーツコミックと関連の深い本を設置してあります。コミックは館内閲覧のみ・貸出禁止ですが、関連本は貸出できます。

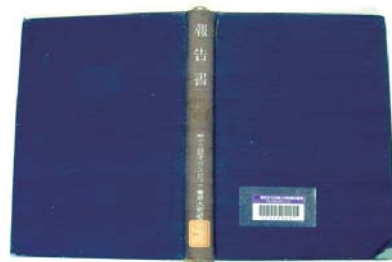
興味を持った本があれば、ぜひ読んでみてください。



● 図書館のお宝紹介!! 東京オリンピック関連

～幻の東京オリンピック 戦前のオリンピック関係書～

1964年に東京でオリンピックが開かれたのは皆さんご存知かと思いますが、戦前に日本でオリンピックが計画されていた事を知る人は少ないかと思いますが、結局は戦争の影響で中止となり幻となってしまいましたが、その計画の一部始終を知る報告書が図書館に所蔵されています。それが「報告書」第十二回オリンピック東京大会組織委員会 1939です。



また、おすすめ図書として近年に下記の2点の出版物があります。是非、一読ください。

1. 「幻の東京オリンピック」 橋本一夫著
日本放送出版協会 1994 780.69-H
2. 「幻の東京オリンピックとその時代」 坂上康博著
青弓社 2009 780.69-S

編集・発行：東京女子体育大学・短期大学図書館運営委員会
東京都国立市富士見台 4-30-1 TEL.042-572-4131

● 本学関係・寄贈図書 平成25年2月～25年7月末まで受入分

No.	寄贈者	書名	著者名	出版者 (発行年)
1	秋山エリカ教授	もっとスゴイ!大人のラジオ体操 決定版	中村格子著 制作協力 秋山エリカ	講談社 (2013年)
2	佐藤喜代教授	「園づくりプロジェクト」による カリキュラム開発の研究	佐藤喜代著	風間書房 (2013年)
3	覚張秀樹教授	障がいのある子どものプール療法 —指導援助の実際— 学校などでの安全で 効果的な指導のために	覚張秀樹編著	日本肢体不自由児 協会 (2013年)
4	及川佑介講師	松本幸雄と『籠球研究』 (昭和9～11年) 日本バスケットボール史の一齣	及川佑介著	叢文社 (2011年)
5	本村清人教授	体罰ゼロの学校づくり	本村清人 編著 三好仁司	ぎょうせい (2013年)

LIVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・短期大学附属図書館報
2013.11 No.18

祝! 2020東京オリンピック 開催決定

去る9月8日(日本時間)、アルゼンチン・ブエノスアイレスで開催されたIOC総会にて、2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定しました!本学も2020東京オリンピック・パラリンピック招致委員会と提携を結び、かねてより招致活動に参加してきました。オリンピック・パラリンピックは、大会の招致の段階から多くの人々の尽力によって大切に育てられています。7年後に向かって本学も飛躍していきましょう。



本学ジュニア・ユースクラブ(新体操)の皆さん(写真部撮影)

おすすめの 一冊 本を読んで甲子園へいこう!

この本は、ある高校の野球部が甲子園（全国大会）を目指した実話です。

沢山練習をしても思うような結果が出ず、野球部の監督が行ったのは、朝練習の時間を本の読み聞かせの時間に替えることでした。しかも、最初に高校生へ読み聞かせたのは絵本でした。そして、ノーシードのチームが県大会の決勝戦まで勝ち進んだという嘘のような本当の話です。

「感動が心を育てる。感動がなければ心は変わらない」と、本の読み聞かせに関わった方が言っています。朝練習の時間を本の読み聞かせに替えたことは、それまでとは違ったアプローチでの心の教育になったのだと思います。

部活動での生徒たちや監督らが本を仲立ちとした心の交流を綴った本です。

(球技研究室・及川 佑介)



◎ 本を読んで甲子園へいこう! (村上淳子 著/ポプラ社)

空飛ぶ広報室

この本は、航空自衛隊広報室を舞台に描かれています。2012年に出版され2013年に、新垣結衣・綾野剛主演でドラマ化されました。2011年に起きた東日本大震災の様子が松島基地を舞台に最終章で「あの日の松島」として書かれています。主人公空井大祐は突然の事故により戦闘機のパイロットを罷免となってしまふ。その後広報班に配属され、元報道記者の稲葉リカと出会う。二人は互いに惹かれあうが…。この話はフィクションとして書かれていますが、そうでない部分もたくさんあります。私達の知らない震災の状況を、ぜひ皆さん読んで知ってください。

(大学3年・中山 美南)



◎ 空飛ぶ広報室 (有川浩 著/幻冬舎)

学生の おすすめ

人を動かす! 安西先生の言葉

これは、教員を目指す私に教育実習先である母校の先生がすすめてくださった本です。

スラムダンクの安西先生のコーチングをテーマにしたもので、コーチングの核心と重要なポイント、そして具体的な実践法を学ぶことができ、また、コミュニケーションの大切さを改めて感じることができます。この本を読み、私は教員になりたいという思いが一層強くなりました。

コーチングを学びたい人も自分の人生をどうすればよいか悩んでいる人も、大きな成果、変化を手にすることができる1冊であると思うので、ぜひ一度読んでみてください。

(大学4年・畠山 陽美)



◎ 人を動かす! 安西先生の言葉 (遠越 段 著/総合法令出版)

おすすめの 一冊 オリンピックと商業主義

日本に、東京に、56年ぶりにオリンピック夏季大会がやってくる。

7年後の2020年開催、そして大会成功に向けた様々な取り組みが行われることになる。

今回の招致・開催決定は、前回1964年大会とは意味合いの異なる、オリンピック・パラリンピック両大会の開催であり、会場施設の新設・改修をはじめとする様々なインフラ整備を始め、スポーツ庁の創設、4年スパンの競技力向上ではなくさらに前倒しをした8年計画での競技力向上も含め我が国のスポーツ振興はもとより、世界に向けた新たなオリンピックの開催の形を発信する大会ともなることが期待されている。



◎ オリンピックと商業主義 (小川勝 著/集英社新書)

オリンピック・パラリンピック東京開催決定に喜びの爆発した日本ではあるが、オリンピックの形は回数を重ねるに従い様変わりをしてきており、オリンピックを復興させたクーベルタンの信じたスポーツの持つ教育的価値、世界平和に向けたその意義、オリンピック憲章に表されるその理念の実現にはまだまだ時間がかかりそうである。

現代のオリンピックは、クーベルタンが理想としたオリンピックとは異なり商業主義と切っても切り離せない関係にある。開催規模の拡大、それにとともなう大会経費の増大、それに加え20世紀後半からは、競技時間帯の変更、競技ルールの改正、ドーピング問題など多くの課題が表面化してきている。多くの競技種目に現在もお影響を及ぼしているこれら課題の一因は行き過ぎた商業主義にもあり、そのターニングポイントとなったのは1984年のロサンゼルスオリンピックといわれている。しかしながら、この商業主義の芽についてはそれ以前のオリンピックにおいても散見されている。

今後2020年東京大会に向け具体化されていく様々な取り組みの中で、時に見落とされがちな商業主義について、その歴史から影の部分までわかりやすく記されている書籍が『オリンピックと商業主義』である。オリンピック招致に成功した今だからこそ目を通しておいてほしい一冊である。

(体育原理研究室・早瀬 健介)

昭和16年夏の敗戦

おすすめの 一冊

2020年東京五輪招致に奔走した猪瀬直樹東京都知事が書いた一作です。

昭和16年、日本がまだ戦争に突入する前に、若手エリートを集めた「模擬内閣」というものが作られ、その後の日本の行く末についてシミュレーションが行われました。当時の国の体制や、それまで暗黙に流れていた空気を抜きに行われたシミュレーションの結論は「日本必敗」つまり日米開戦には決して持ち込んではいけないというものでした。そこでは、もし開戦した場合の日本敗戦までの経緯がかなり正確に予測されています。しかし、実際にはこの模擬内閣の結論とは裏腹に、日本は戦争の泥沼へと突入していきます。

固定化された暗黙の了解の上に流れる空気に乗って物事を進めるのか、あるいはそれに捉われられない新鮮なシミュレーションで進んでいくのか、そしてそれらを誰が決めるのか、という問題を取り上げたこの著作は、競技スポーツの戦術を考えていく上で大きな示唆を与えてくれます。「様々な予想はできるけど、何とか思い通りになるだろう」という気持ちで物事を進めてしまうことがあった私自身にとって、大きく反省させられた一冊です。

(器械運動研究室・佐藤 晋也)



◎ 昭和16年夏の敗戦 (猪瀬直樹 著/中公文庫)



障がいのある子どもの プール療法

-指導援助の実際-
学校などでの安全で効果的な指導のために



◎ 障がいのある子どものプール療法-指導援助の実際- (寛張 秀樹 編著/日本肢体不自由児協会)

障がいのある子どもの学校教育が「特殊教育」から「特別支援教育」へと名称も、対象もそして教育内容も変化してきています。

教員免許取得希望のすべての学生に「特別支援学校」と「社会福祉施設」での見学実習が義務付けられるようになりました。特別支援学校(学級)での指導のみならず、通常学級に8%~10%在籍しているともされる「発達障がい児」の指導において、「安全な指導」と「効果的な指導」を高いレベルで両立させたプール指導をめざすための参考に加えていただければ幸いです。

(リハビリテーション研究室・寛張 秀樹)